

わが家のアイドル



せきかわ ゆずか
関河優純果 ちゃん
「毎日わんぱくで
走り回ってます!」



あきもと つむぎ
秋本 紬希 ちゃん
「お散歩だーいすき!」



こばやし そうすけ
小林 奏介 くん
「抱っこ大好き!」



おおさ かえで
大矢 楓 くん
「パパ、ママ、ばあば、じいじ
だいすき!」

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

(小鹿野高等学校)

「プロギング」

小鹿野高校は、地域に根差した学校です。日頃の地域への感謝も含め、5月6日、ボランティア部を中心に(ボランティア部以外にも有志の生徒数名参加)、第1回プロギングを開催しました。プロギングとは、スウェーデン発祥の「ジョギングをしながらゴミを拾う」という環境活動と健康づくりを一緒にできる新しいフィットネスです。ボランティア部は、今まで、地域清掃やエコキャップ回収などに取り組んでいますが、SDGsの観点から、新しい取り組みとして挑戦してみました。

限られた時間の中でしたが、生徒が距離を測定したところ、2km程、活動できました。日頃、校内でエコキャップ分別に励んでいるボランティア部にとって、とても良い気分転換になりました。ボランティア部の生徒からは、「運動しながら、ごみ拾いができて楽しかった」「またやりたい」「もう少し長い時間活動したい」など、満足感と充実感が溢れていました。小鹿野高校は、今後もこうした活動を積極的に行い、地域のために貢献していきます。

小鹿野高等学校



市民文芸

俳句

須田 真弓 選

友の忌に合わせ向日葵種蒔きぬ	あ	の	旗	を	世	界	は	知	つ	た	麦	の	国
落花しきり神主の声朗々と	落	花	し	き	り	神	主	の	声	朗	々	と	
菜の花をよごしにすれば母の味	菜	の	花	を	よ	ご	し	に	す	れ	ば	母	の
日脚伸ぶページをめくることにな	日	脚	伸	ぶ	ペ	ー	ジ	を	め	く	る	こ	と
山並の低き盆地や野の水	山	並	の	低	き	盆	地	や	野	の	水		
岬まで訪ねてみたい啄木忌	岬	ま	で	訪	ね	て	み	た	い	啄	木	忌	
野に山にわたしここよとさくら咲く	野	に	山	に	わ	た	し	こ	こ	よ	と	さ	く
初音きく八十路中ばの初スマホ	初	音	き	く	八	十	路	中	ば	の	初	ス	マ
真っ直ぐと蛇行とありて花筏	真	っ	直	ぐ	と	蛇	行	と	あ	り	て	花	筏

〔評〕 齋藤さんの句、友人が好んだ花の種を蒔き、しのぶ気持ち深まる。榎本さん、ウクライナを思い、折しも美しい「麦の秋」となった。橋本さん、朗々とした声に桜が舞う。千島さん、母親から教わったよごしの味は忘れない。町田さん、本をめくるように、次々と着実に日脚は伸びる。江原さん、山並から野水仙へと視線が移り、盆地に野水仙が似合う。白砂さん、啄木忌は四月十三日、岬とは石川啄木と一族が眠る函館の立待岬であろうか。井上さん、桜を積極的に明るいイメージで詠む。齋藤祥さん、初音とはその年に初めて鳴く鶯の声、スマホ挑戦を重ねる。島崎さん、花筏は水面に散った桜の花びらを筏に見立てる季語で、川筋や風に任せて様々に流れる。

※次回7月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず通常はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句 6月末締切→8月号に掲載
短歌 7月末締切→9月号に掲載